

長谷川町子美術館・林野庁連携  
「森林の環<sup>もり</sup>応<sup>わ</sup>援団」コンセプト

私たちの暮らす日本は、周囲が海で囲まれ、国土の7割は森林で占められている、森と海に恵まれた自然豊かな国です。この海がいきいきと豊かな生物を育むには、その上流の森林もまたいきいきと豊かであることが欠かせない関係から、「森は海の恋人\*」と言われます。

ご存じ「サザエさん」では、サザエさんをはじめ、波平さん、フネさん、マスオさん、カツオくん、ワカメちゃん、タラちゃん、と海にまつわる名の家族が、とてもいきいきと暮らしています。

つまり、サザエさん一家（=海）と森とは相思相愛、切っても切れないご縁があるのです。

日本人は古くから木材を住まいや道具に利用し、森の恵みと共に暮らしてきました。木を伐って使ってきちんと植えて育てることは、木々の成長や、森林がきれいな水や空気を生み出す働きを助け、地球温暖化防止にも貢献します。森の生物、人、そして海の生物にとって住みよい環境を築くのです。

海と森の深い関係から、豊かな森林を育む「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用の「環<sup>もり</sup>」を確かなものとするために、サザエさん一家が協力してくれることになりました。

その名は、「森林の環（もりのわ）応援団」。

「森林の環<sup>もり</sup>」は、私たちの明るい未来の暮らしにつながります。サザエさん一家が、そんな未来を応援してくれます。

\*協力 NPO 法人森は海の恋人